



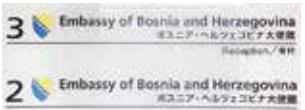
## こんにちは、大使館【第23回】ボスニア・ヘルツェゴビナ

**2016年は外交関係樹立20周年**

元サッカー代表の宮本恒靖選手がサッカー学校を設立

オシム監督は典型的ボスニア・ヘルツェゴビナ人

桜と温泉が大好きだという女性参事官が語ってくれました



◆ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館  
参事官  
Counsellor, Ms. Jelena Pasic  
(イエレナ・パシッチ)さん

IACの文化交流の強力なパートナーは、各国在日大使館です。それぞれの国について、「食」や「民族芸術」のシリーズとは別の切り口でこの紙面から紹介します。このコーナーは引き続きIAC会員の取材で構成します。ご興味がある方は、事務局にお問合せください。

バルカン半島の北西部、九州と四国を合わせたほどのおよそ51,000平方キロの面積と400万人余りの人口を抱えるボスニア・ヘルツェゴビナ。首都はサラエヴォ、農業と林業が盛んでヨーロッパ諸国に家具等を輸出する程だそうです。東京・広尾にある大使館で、女性参事官のイエレナ・パシッチさんに伺いました。

——私たち、日本人はボスニア・ヘルツェゴビナといえば、1992年から95年の内戦のことが頭に浮かびます。

**参事官**「ボスニア・ヘルツェゴビナにはイスラム教徒が50%、正教会のセルビア人が31%、ローマ・カトリック教会のクロアチア人が15%います。今はお互いの宗教の祭日を祝い合うなど、互いに尊重し合って暮らしています。グローバル化が進む世界で多様性は利点です。」

——2016年はボスニア・ヘルツェゴビナと日本にとって記念すべき年のことですね。

**参事官**「外交関係を樹立したのが1996年ですから、2016年は二国間の外交関係樹立20周年ということで非常に記念すべき年になります。この年に元サッカー日本代表の宮本恒靖選手が、南部のモスタルという町に子供たちのためのサッカー学校を設立してくれました。スポーツというの、人を結ぶ非常に大切な役割を果たしてくれます。」



▲国旗とサッカーボールがデザインされたリュック

——サッカーといえば、日本人にとって一番有名なボスニア・ヘルツェゴビナ出身の方は、元サッカー日本代表の監督であるイビチャ・オシム監督だと思います。

**参事官**「彼は私たちの国でも大変有名です。また非常に人格者です。」

——イエレナさんは彼の性格の中に、ボスニア・ヘルツェゴビナ人らしさというのを感じますか？

**参事官**「まさに彼は典型的なボスニア・ヘルツェゴビナ人です。非常に世話好きで、何事にも援助を惜しまず、誰に対しても全力で向き合うというところが特にそうです。また現サッカー日本代表の監督ヴァヒド・ハリルホジッチ監督もボスニア・ヘルツェゴビナ出身なんです。私たちの国民性と日本人はとても似ていると思います。礼儀正しく、もてなしの心にあふれています。首都サラエヴォ、世界遺産のモスタル、アドリア海に面したネウムという海岸町がお勧めです。ぜひいらしてください。」

1時間近く、にこやかに質問に答えて下さった女性参事官のイエレナさん。大使も女性とのことで、ボスニア・ヘルツェゴビナでは女性の社会進出がとても進んでいるそうです。また有機農業が盛んで、有機ワインは3年前から日本に輸出しているとのこと、これから輸出したいという可愛いフクロウの絵が描かれたボスニア・ヘルツェゴビナ産の有機化粧品を見せて頂きました。これからますます日本とボスニア・ヘルツェゴビナの関係は一段と深まっていきそうです。



▲チェリーブランデー、ハーブティ、  
はちみつなどの特産品



文:阿部櫻子(IAC会員)  
写真:藤倉明治(IAC会員)



►寄木細工でテーブルの  
脚のはめ込みも模様に  
なっている

◀世界遺産のスタリ・モスト橋

## 広 告

**沖縄の精霊のおはなし。**

沖縄の精霊  
キジムナーと男の子  
の友情のお話。

タイトル・作者  
「キジムナーと  
カミジュ」  
たまもと さゆり

ご購入はコチラから▼  
<https://www.o-kyohan.co.jp/>

**SMARTPHONE ADVERTISING**

**az&co Inc.**

**一緒に実現する  
IACの文化交流**

- 会員として活動に参加してください。  
年会費:個人5千円 法人3万円(一口)
- 「風流」の同行取材にご協力いただけ  
る方を募集しています。
- 広告を募集しています。

「風流」やIACホームページへの広告で、貴社、貴店の  
PRとともにIACの活動をサポートしてください。

